

2025 年度視察研修会（後期）実施報告

この研修会は当協議会会員を対象に県内の環境関連施設また企業における様々な取り組みなどの活動について、知り・学ぶ研修会として2018年度から年1回実施しているものです。昨年度からは前期・後期の年2回の開催とし、後期では当会会員である「住友重機械工業株式会社横須賀製造所」様にご協力いただき、下記のとおり開催いたしましたので、簡単な事業所紹介と参加者様からのご意見、ご感想等を報告いたします。

【開催日時】 2025年11月27日（木）14時～16時

【開催場所】 住友重機械工業(株)横須賀製造所
(横須賀市夏島町 19)

【参加者】 当協議会会員等 合計 23 名

【研修内容】 ◎横須賀製造所の概要説明
◎同社の環境保全の取り組み紹介
◎現場視察（造船、洋上基礎構造物及び鍛造工程等）



製造所全景

【住友重機械工業(株)横須賀製造所のご紹介】

当製造所では、ステージシステム、システム制御装置、レーザー加工システム、半導体製造装置、精密鍛造品、船舶関連事業などを手掛けています。1971年（昭和46年）に追浜造船所として開設し、中型タンカーなどの造船事業を展開してきましたが、2024年には洋上風力発電の基礎構造物や関連船舶の事業化へと舵を切りました。現在は、人工知能（AI）、半導体、自動化に対応する新研究棟を建設するなど、多角的な事業展開を進めています。2022年（令和2年）には循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰するなど、様々な環境保全活動に取り組み、その功績が高く評価されています。



概要説明の様子

【参加者からのご意見、ご感想】 ＊アンケート結果から抜粋しています。

- 消費電気量の見える化が時間、日、月毎に管理されており作業員への意識改革や改善対象設備が明確になっている。
- ISO14001 運用効率化として、品質、環境、労働安全衛生の活動が重なる部分について、文書等を共通化した点。またそれに伴い、共存/並立の除去。書類の削減、権限移譲等が優れていると思った。
- 大手企業の管理体制らしく、旗振り役の環境管理部が主導し、各事業所毎に環境担当者を配置して取り組み推進していく方法で、業務の抜けや漏れのリスクが少ないと感じた。
- 管理体制が確立され、さらに効率的な運用ができるよう他のMSと統合し運用している。
- 安全、衛生、環境、防災と各業務を縦割りにせず、連携して活動するようにしているとのことで大いに参考にしたいと思った。
- 廃棄物の分別はこれまでも実施しているが、社員により意識レベルの差があるため、パトロール等意識向上の取組は必要と感じている。また、内部監査については、当社ではそれぞれ事務局が異なるため、即座の集約化は難しいが、現場の負担減少や効率化には望ましいと考える。
- 弊社以上にごみの分別の細分化をされており、従業員への周知もできている。周知の方法の一つで分別パトロールを実施されているとのことなので、弊社でも実施して従業員への周知定着を図りたい。
- 視察研修会には初めての参加となりましたが、細かな部分まで担当者に直接意見を伺う事ができた事や、実施されている取り組みを直接見ることが出来たので、とても有意義な時間を過ごせた。